

Kansai Economic Insight Monthly

2013/12/24

Vol.8 November/December

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly” は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 研究統括）、岡野光洋・林万平・劉洋（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	7
主要月次統計	9
Release Calendar	10

要旨

- ✓ 10月の関西の鉱工業生産は前月比+2.5%と2カ月ぶりの上昇も全国に比して回復は緩やか。
- ✓ 円安の持続を背景に、11月の関西の輸出額は前年比9カ月連続のプラス。一方、輸入も11カ月連続で増加。結果、貿易収支は3カ月連続の赤字。
- ✓ 11月の関西の消費者態度指数、景気ウォッチャー現状判断DIはいずれも2カ月ぶりに前月比改善した。
- ✓ 10月の全国賃金は前年比4カ月連続のマイナス。9月の関西コア賃金も同5カ月連続のマイナス。関西の賃金の減少幅は全国より大きい。
- ✓ 関西の10月の大型小売店販売額は、3カ月連続の前年比プラス。百貨店も3カ月連続のプラス。
- ✓ 10月の関西の新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年比増加。持家は9カ月連続、貸家は4カ月連続、分譲は2カ月連続で上昇。
- ✓ 10月の関西の有効求人倍率は前月から0.02ポイント上昇し、08年6月以降の最高値となった。一方完全失業率は前月からやや上昇したが、今後改善すると予想。
- ✓ 10月の関西の建設工事は前年比18カ月連続のプラス。全国的な公共工事の増加を受けて、建設工事の伸び率は引き続き増加している。
- ✓ 関西11月の公共工事請負金額は前年比7カ月ぶりのマイナス。季節調整値も前月比2カ月連続のマイナス。公共工事の減速幅は拡大している。
- ✓ 11月中国の工業生産の前年比の伸びは幾分減速。製造業の購買担当者景況指数をみれば、生産および輸出新規受注指数はともに前月から上昇しており、先行きにとっては好材料。
- ✓ 11月中国の輸出額は前年比+12.8%と前月より大幅に増加した。対日輸入は同+2.3%と16カ月ぶりのプラスとなった。いずれもドルベース。チャイナリスクの影響は幾分剥落してきた。

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

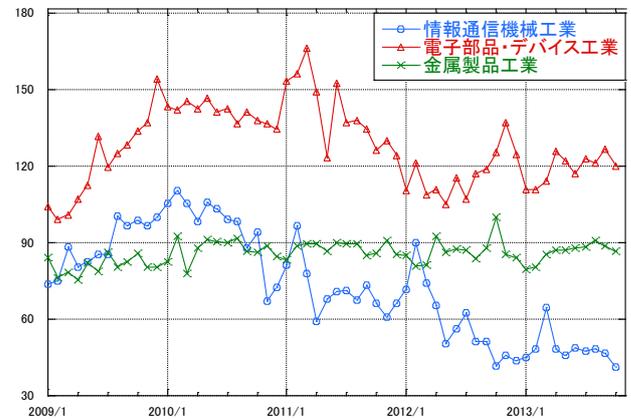
関西における 10 月の鉱工業生産指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は 91.4 で前月比+2.5%、出荷は 90.2 で同+0.6%といずれも 2 カ月ぶりの上昇。在庫は 104.2 で同-0.8%と 4 カ月ぶりの下落となっている。

業種別に生産指数をみると、一般機械(同+6.8%)、化学工業(除. 医薬品)(同+3.3%)、輸送機械 (除. 鋼船・鉄道車両)(同+4.2%)、等が上昇した。一方、電子部品・デバイス(同-5.3%)、情報通信機械(同-11.5%)、金属製品(同-2.1%)、等が下落した。(下図：業種別生産指数の推移を参照)。特に、情報通信機械は一昨年からの低迷が続いている。

(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移 (続き)



鉱工業指数の推移(関西：2013年10月まで、平成17年=100)



(2) 全国の生産動向

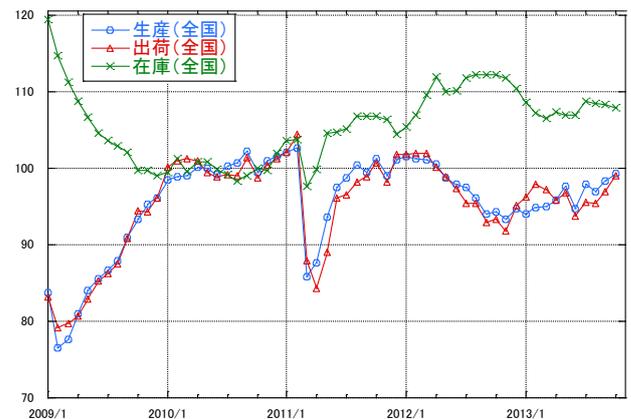
全国における 10 月の鉱工業生産指数（確報値、季節調整済）は 99.3 となり前月比+1.0%、出荷は 99.1 で同+2.3%といずれも 2 カ月連続の上昇。在庫は 108.0 で同-0.3%となり 3 月連続のマイナスとなった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(+7.1%)、電気機械(+5.3%)、化学工業(+2.0%)等を中心に生産は上昇した。一方、電子部品・デバイス(-6.5%)、金属製品(-2.8%)、石油・石炭製品(-3.9%)等は下落した。

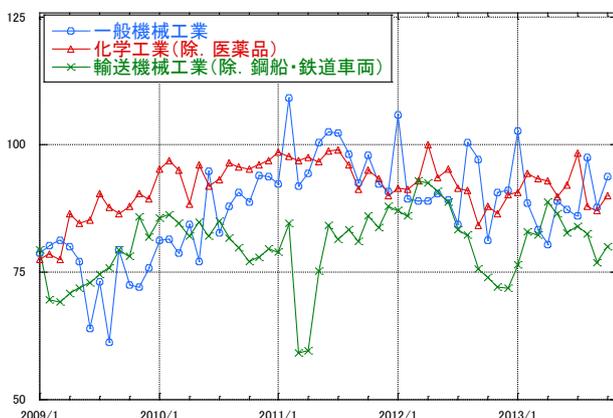
(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

鉱工業指数の推移 (全国：2013年10月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(関西：2013年10月まで、平成17年=100)



(出所) 「鉱工業指数」、経済産業省

【貿易動向】

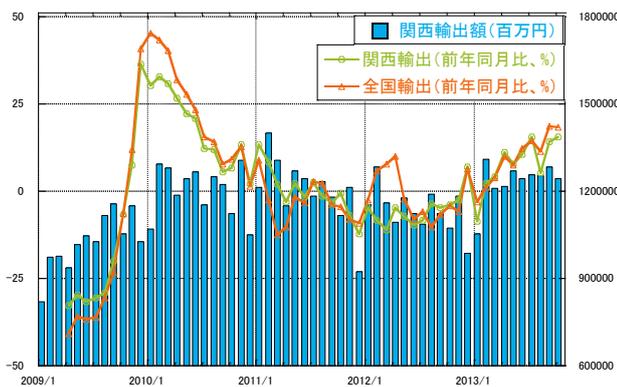
(1) 輸出

近畿圏における11月の輸出額(速報値)は1兆2,427億円、前年同月比+15.7%と9カ月連続の増加。輸出は、半導体製造装置、鉄鋼、船舶を中心に増加している。

地域別では、アジア(前年同月比+11.4%)、中国(同+19.0%)、米国(同+14.1%)、EU向け(同+36.5%)輸出はいずれも増加しており、特にEU向けの伸びが顕著である。昨年来の円安傾向により円ベースでの輸出の増加が続いている。

全国の11月の輸出額(速報値)は5兆9,005億円、前年同月比+18.4%と9カ月連続の増加。円安の持続を背景に、輸出は近畿、全国共に引き続き大きく改善してきている。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2013年11月まで)



(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

(2) 輸入

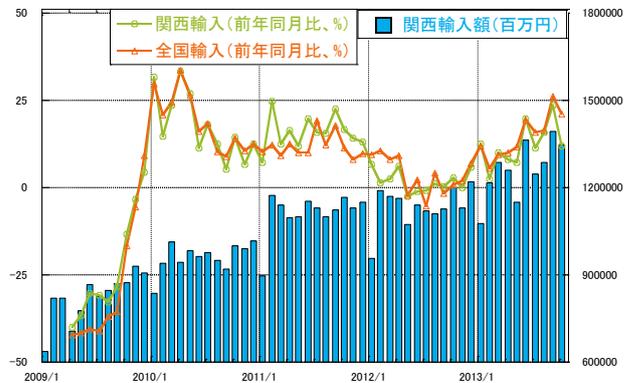
近畿圏における11月の輸入額(速報値)は1兆3,468億円、前年同月比+12.1%と11カ月連続の増加し、11月の過去最高額を更新した。半導体等電子部品(11月過去最高)、通信機(過去最高)、原油及び粗油(11月過去最高)を中心に、輸入は大幅に増加してきている。

地域別では、アジア(前年同月比+18.3%)、中国(同+18.9%)、米国(同+18.6%)からの輸入が引き続き増加しているものの、EU(同-4.2%)からの輸入は減少に転じた。11カ月ぶりのマイナスである。

全国の11月の輸入額(速報値)は7兆1,933億円、前年同月比+21.1%と13カ月連続の増加となっている。前月に引き続き7兆円台を維持している。輸入増加には原粗油、

液化天然ガスが大きく貢献しているが、航空機類が一時的に大幅な伸びを見せている点にも留意する必要がある。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2013年11月まで)



(出所)「財務省貿易統計」、財務省

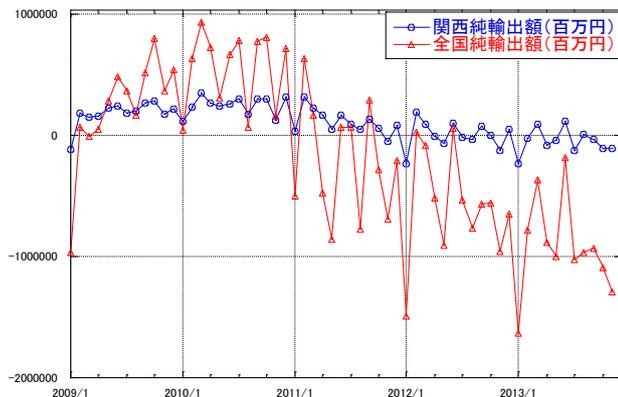
(3) 純輸出

近畿圏における11月の純輸出額(速報値)は-1,042億円と3カ月連続の赤字となったものの、赤字幅は前月より幾分縮小した。先月に引き続き、関西の純輸出額は、全国と比較して、若干の赤字に止まっている。

純輸出を地域別に見ると、対アジア貿易収支は10カ月連続の黒字となったが、3カ月連続で黒字幅は前年比縮小している(前年同月比-56.0%)。うち対中貿易は21カ月連続の赤字であり、赤字幅は3カ月連続で拡大(同+18.8%)している。対米貿易は黒字基調が続いており、貿易収支は2カ月連続の増加(同+6.7%)。対EU貿易は8カ月連続の赤字(同-93.7%)となっている。

全国の11月の純輸出額(速報値)は-1兆2,929億円と17カ月連続の赤字(前年同月比+35.1%)。貿易収支は近畿、全国共に赤字が続いているが、近畿に比して全国の様子は厳しさを増している。

純輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2013年11月まで)



(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

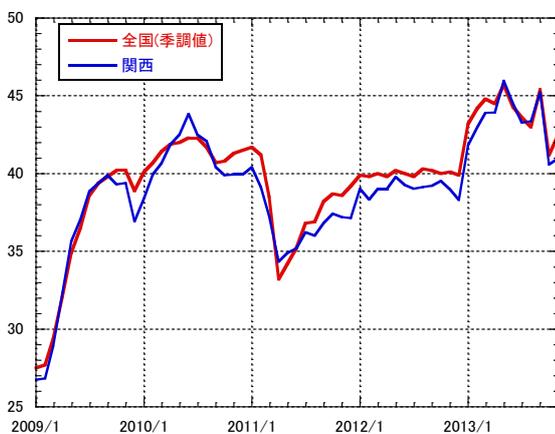
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の11月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.4ポイント上昇し41.0となった。2カ月ぶりのプラス。10月の大幅悪化(-4.6ポイント)から幾分持ち直した。同指数の構成項目をみると、「暮らし向き」が同+0.6ポイント、「収入の増え方」が同+0.9ポイント、「雇用環境」が同+1.0ポイントといずれも2カ月ぶりに上昇した。一方「耐久消費財の買い判断」は同-0.9ポイントと2カ月連続で下落した。

全国の11月の消費者態度指数(季節調整値)は42.5となり、同+1.3ポイントと2カ月ぶりに改善した。

消費者態度指数(2013年11月まで)



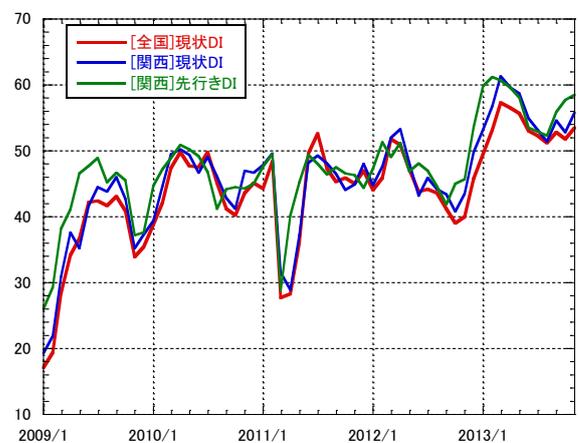
(出所) 内閣府 「消費動向調査」(平成25年12月10日公表)

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

乗用車や家電などを中心に駆け込み需要の動きがみられることから、関西の11月の現状判断DIは前月比+3.0ポイントの55.8と2カ月ぶりに上昇した。全国の現状判断DIも同+1.7ポイントの53.5と2カ月ぶりに上昇。

関西の先行き判断DIは同+0.8ポイントの58.5、全国の先行き判断DIは同+0.3ポイントの54.8といずれも2カ月連続で上昇している。

景気ウォッチャー調査(2013年11月まで)



(出所) 内閣府(平成25年12月9日公表)

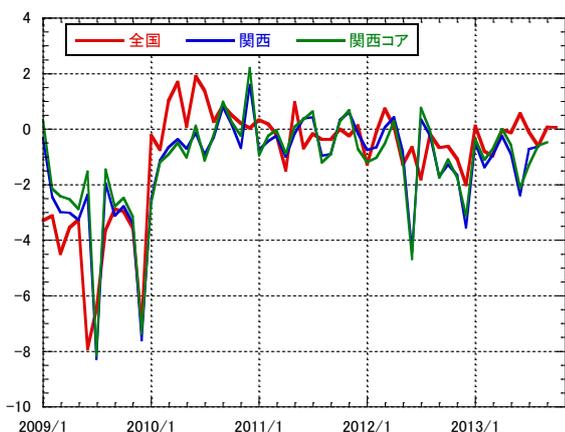
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

関西の8月の現金給与総額(APIR推計)は265,924円となり、前年同月比-0.6%減少した。13カ月連続のマイナス。また速報性のある「関西コア」指数(京都・大阪・兵庫の現金給与総額の加重平均値)は、9月に同-0.6%と5カ月連続の下落となった。

全国では9月に同-0.2%、10月(確報値)は同-0.1%と4カ月連続のマイナスとなったが、減少幅は関西より小さい。関西では今後も低位で推移することが予想される。

現金給与総額(前年同月比：%、2013年10月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

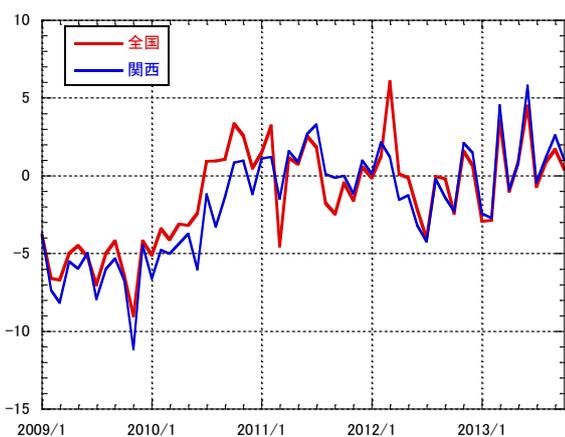
(出所)：厚生労働省「毎月勤労統計調査」(平成25年12月3日公表)を加工

(2) 大型小売店販売額

関西の10月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+1.0%。3カ月連続のプラスとなったが、伸びは前月(+2.6%)から小幅減速。衣料品が天候不順等の影響で低調だったものの、高額品が引き続き好調であった。百貨店も同+1.7%と3カ月連続のプラス。

なお全国でも、10月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+0.4%と3カ月連続のプラスとなっている。

大型小売店販売額 (前年同月比：%、2013年10月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成25年11月28日公表)

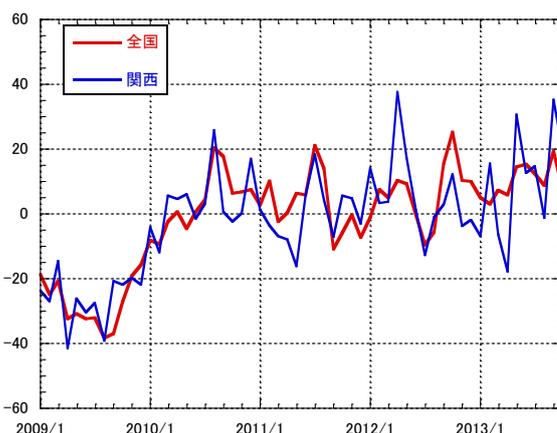
(3) 新設住宅着工の動向

10月の新設住宅着工戸数は14,873戸。前年同月比+19.7%と2カ月連続で上昇した。利用関係別にみると、持家は同+15.0%と9カ月連続の上昇、貸家が同+28.1%と4カ月連続の上昇。分譲も同+12.3%と2カ月連続で上昇した。全国の新設住宅着工戸数は同+7.1%と14カ月連続で上昇。

11月のマンション契約率(出所：不動産経済研究所「マンション市場動向」)は79.4%(季節調整値、APIR推計)。前月(77.8%)から上昇し、好不調の目安とされる70%を21カ月連続で上回っている。

9月30日(注文住宅を消費税5%で購入できる請負契約の期限)を過ぎたものの、相続税制改正に伴う節税対策もあり、住宅市場は貸家を中心に好調を維持している。

新設住宅着工(前年同月比：%、2013年10月まで)



(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成25年11月29日公表)

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

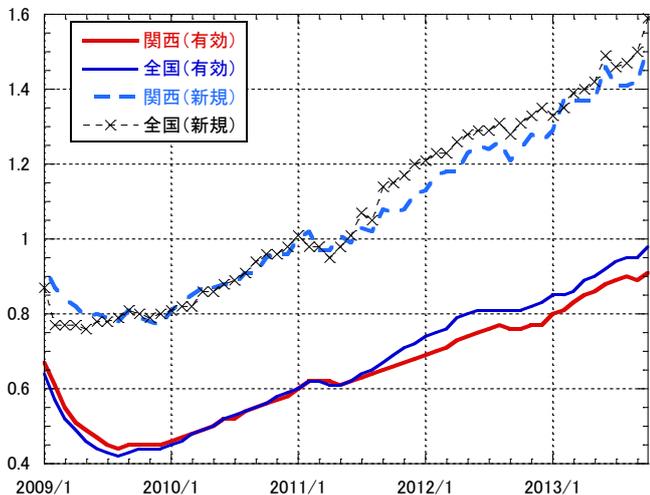
10月の関西の有効求人倍率は0.91倍、前月から0.02ポイント上昇。2008年6月以降の最高値となった。全国は0.98倍で、先月から0.03ポイント上昇。結果、2008年1月以降の最高値となった。

10月の新規求人倍率は、関西は1.51倍と前月(1.42倍)より大幅上昇。全国は1.59倍と3カ月連続の改善。

地域別に見ると、関西の求人倍率は全国平均を下回る傾向が続いており、関西における賃金の伸び悩みの一因となった。

このような状況の下で、関西の賃金を引き上げるために、関東などの地域より高い(生産)成長率が求められると考える。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2013年10月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況 (平成 25 年 11 月 29 日発表)

地域別有効求人倍率 2013年10月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
10月	0.98	0.81	1.03	1.03	0.90	1.15	1.18	0.91	1.11	1.03	0.79
9月	0.95	0.78	1.00	0.99	0.88	1.11	1.16	0.89	1.09	1.01	0.78

(2) 完全失業率の推移

10月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は4.7%となり、前月から+0.6%ポイントと2カ月ぶりに上昇。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR 推計)は47.8万人。前月から5.7万人の増加となった。同じく2カ月ぶりの増加。

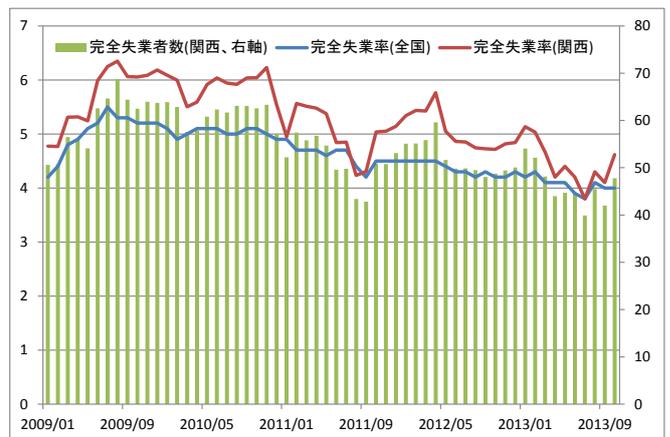
全国の完全失業率(季節調整値)は4.0%となり、前月から横ばい。完全失業者数(季節調整値)は266万人となり、前月(263万人)より3万人増加した。求職理由別にみると、

「非自発的な離職」¹は89万人(前月比+3万人)、「自発的な離職(自己都合)」は94万人(同+2万人)、「新たに求職」は78万人²(同-1万人)となった。離職者数の増加が失業者数を押し上げた。

¹ 「非自発的な離職による者」は「定年又は雇用契約の満了」及び「勤め先や事業の都合」により離職した者である。(出所:総務省)

² 「新たに求職」は「学卒未就職」、「収入を得る必要が生じたから」及び「その他」の理由により新たに仕事を探し始めた者である。(出所:総務省)

完全失業率の推移 (季節調整値、2013年10月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」(平成 25 年 11 月 29 日発表)

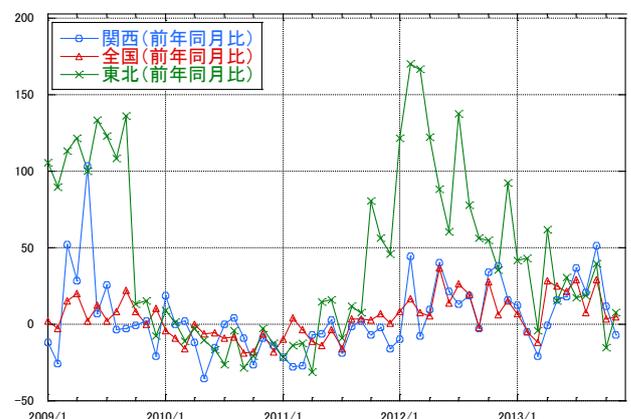
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西11月の公共工事請負金額は1,112億円。前年同月比-7.0%と7カ月ぶりのマイナス。全国は9,416億円と同+4.9%、8カ月連続のプラス。東北は1,785億円と同+7.8%と、2カ月ぶりのプラス。関西の公共工事はいまだ高水準であるものの、その伸びには停滞が見られる。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は2カ月連続の前月比マイナス(関西:同-10.5%)、全国は2カ月ぶりのマイナス(全国:同-9.9%)となった。関西の減速幅はこここのところ拡大している。

公共工事請負金額(前年同月比:%, 2013年11月まで)

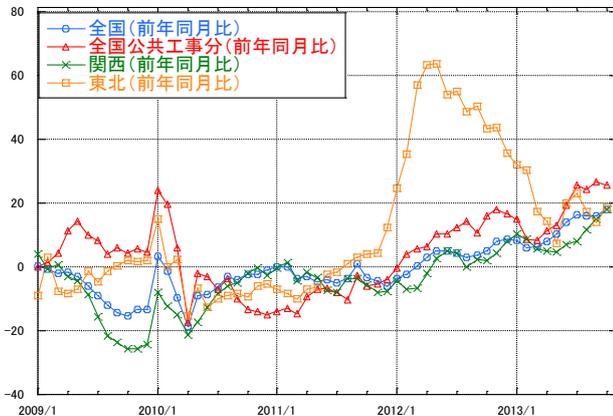


(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社

(2) 建設工事

関西における10月の建設工事は5,402億円。前年同月比+18.1%と18カ月連続のプラス。伸び率は拡大を続けている。東北は5,487億円と同+18.6%と27カ月連続のプラス。この2カ月、伸び幅は縮小していたが10月は再び拡大に転じた。なお同月の全国の建設工事は4兆5,496億円となり、同+18.1%と20カ月連続のプラス。うち公共工事は1兆9,976億円、同+25.6%と21カ月連続のプラス。いずれの地域も、建設工事の伸びは堅調に推移している。

建設工事(前年同月比: %、2013年10月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【中国景気モニター】

(1) 工業生産

11月の工業生産は前月比+0.8%となった10月同+0.9%、9月は同+0.7%と緩やかな回復が続いている。前年同月比で見れば、11月は同+10.0%と前月(+10.3%)より幾分減速した。

産業別に見ると、11月は化学原料・製品製造業(前年同月比+12.4%)、自動車製造業(同+20.3%)、電気機械・機材製造業(同+12.8%)が高い伸びを示す一方、鉄鋼などの製錬・圧延加工業(同+7.8%)と電力・熱力の生産・供給業(同+6.1%)の伸びは比較的低調であった。

工業生産指数(2013年11月まで: %)



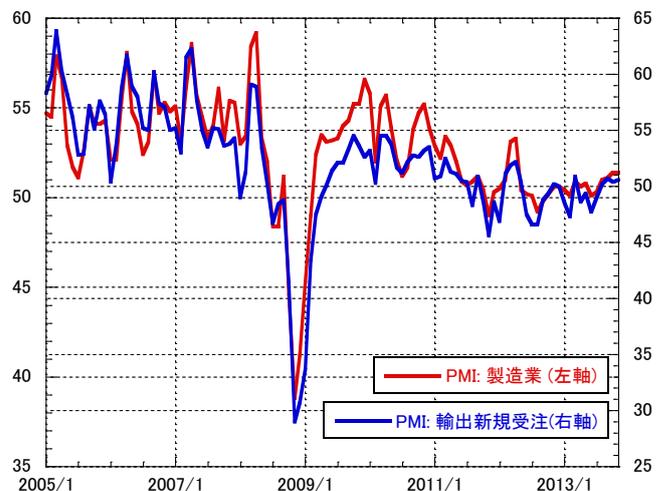
出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) センチメント

製造業の購買担当者景況指数(PMI)は、11月に51.4となり前月比横ばい。うち、生産指数は54.5となり、5カ月連続で前月比上昇し、輸出新規受注指数は50.6となり、前月(50.4)より0.2ポイント上昇した。一方新規受注指数は52.3となり、前月より0.2ポイント低下した。また、11月の雇用指数は49.6となり、前月から0.4ポイント上昇した。直近の8カ月では最高値である。

生産指数と輸出新規受注指数両方とも上昇したことは、近い将来の見通しにとっては好材料である。

中国製造業購買担当者景況指数 (2013年11月まで: %)

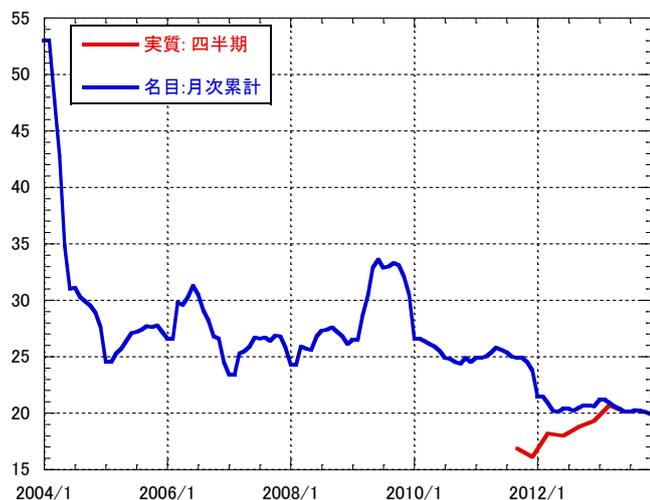


出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

11月における(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+19.9%となり、前月(同+20.1%)から幾分減速した。産業別の伸びを見れば、第1次産業+31.7%、第2次産業+17.3%、第3次産業+21.5%となった。

固定資産投資 (2013年11月まで: %) (累積伸び率)

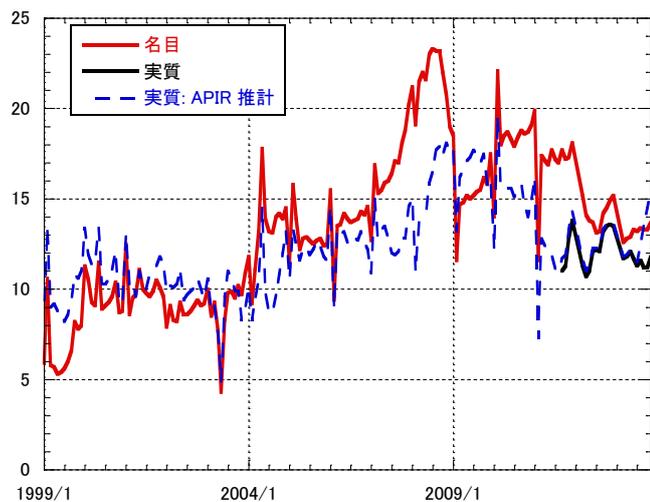


出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

社会消費品小売総額(名目)の成長率は、11月に前年同月比+13.7%となり前月から上昇した(同+13.3%)。長期的に見れば、減速トレンドにある投資に比べて、消費は比較的好調であり、中国经济成長のエンジンになりつつある。

社会消費品小売総額 (2013年11月まで: %)



注: APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

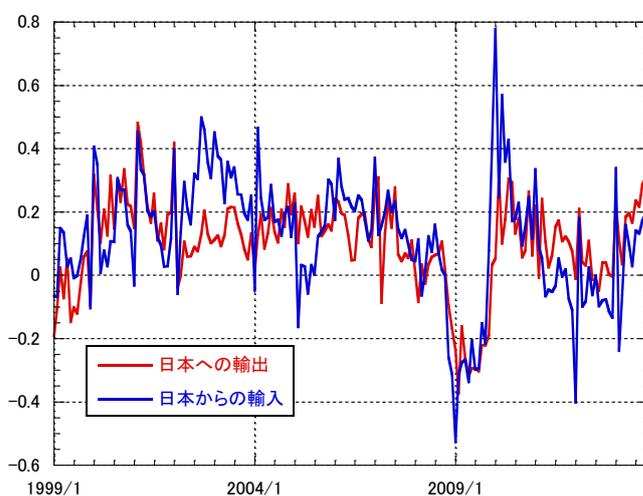
出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 貿易動向

中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は11月に前年同月比+12.8%と前月(同+5.6%、確定値)より大幅に増加した。輸入額は同+5.3%(速報値)と前月(同+7.8%、確定値)より低下した。

うち日本への輸出額は同+2.9%となり、前月(同+5.6%)から減速した。一方、日本からの輸入額は同+2.3%と16カ月ぶりのプラス。チャイナリスクの影響は更に緩んできたようである。円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+27.3%と前月(+30.9%)より低下したが、日本からの輸入額は同+26.5%に上昇した(前月+19.5%)。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2013年11月まで: %)



出所: 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

Contact: 岡野光洋・林万平・劉洋

Tel. 06-6485-7695, E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	12/11M	12/12M	13/01M	13/02M	13/03M	13/04M	13/05M	13/06M	13/07M	13/08M	13/09M	13/10M	13/11M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	43.5	49.8	53.2	56.8	61.3	59.6	58.7	54.9	53.2	51.4	54.6	52.8	55.8
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	41.5	47.6	53.2	56.3	62.6	59.6	58.8	55.0	52.0	48.8	53.0	50.4	54.6
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	45.7	53.6	59.8	61.2	60.7	59.6	58.1	53.5	52.9	52.3	55.9	57.7	58.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	40.0	45.8	49.5	53.2	57.3	56.5	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	39.2	45.5	48.3	51.7	56.9	55.5	54.4	52.2	50.6	49.3	50.6	49.2	51.3
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	41.9	51.0	56.5	57.7	57.5	57.8	56.2	53.6	53.6	51.2	54.2	54.5	54.8
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	39.0	38.3	41.8	43.0	43.9	43.9	46.0	44.5	43.3	43.4	45.2	40.6	41.0
[関西]暮らし向き(原数値)	39.9	38.7	41.9	42.4	42.0	40.8	43.5	42.8	41.5	40.8	42.4	38.1	38.7
[関西]収入の増え方(原数値)	39.5	37.9	39.0	40.2	40.7	40.2	42.7	41.3	40.4	40.3	41.2	37.6	38.4
[関西]雇用環境(原数値)	35.9	36.0	42.5	45.4	47.1	48.7	50.9	47.6	47.3	47.6	51.1	45.1	46.1
[関西]耐久消費財の買い時判断(原数値)	40.8	40.6	44.0	43.9	45.9	46.0	46.8	46.4	44.0	44.9	46.2	41.6	40.7
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	39.0	38.3	43.2	44.2	44.8	44.5	45.7	44.3	43.6	43.0	45.4	41.2	42.5
[関西]乗用車新規登録届出数(前年同月比%)	-2.0	-3.9	-6.2	-8.7	-13.8	4.7	-6.3	-10.6	-10.0	-0.5	14.0	17.9	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	-8.4	-5.0	-12.3	-5.3	-3.2	-8.9	-0.5	12.6	-13.8	4.6	-4.8	3.3	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	326.2	411.9	329.6	277.3	316.7	297.4	303.7	317.2	333.5	303.7	289.4	305.0	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	2.1	1.5	-2.4	-2.7	4.5	-0.9	0.8	5.8	-0.4	1.2	2.6	1.0	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1663.0	2104.8	1687.2	1423.9	1659.8	1550.9	1588.9	1638.5	1712.7	1582.3	1506.0	1586.0	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	1.6	0.7	-2.9	-2.9	3.5	-1.0	0.9	4.5	-0.7	0.9	1.7	0.4	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	10109.0	11075.0	10112.0	11063.0	10895.0	10626.0	12403.0	12215.0	12622.0	11537.0	13606.0	14873.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-3.7	-1.8	-6.9	15.5	-6.2	-17.8	30.6	12.6	14.7	-1.2	35.2	19.7	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	80145.0	75944.0	69289.0	69969.0	71456.0	77894.0	79751.0	83704.0	84801.0	84343.0	88539.0	90226.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	10.3	10.0	5.0	3.0	7.3	5.8	14.5	15.3	12.4	8.8	19.4	7.1	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	73.6	80.9	84.6	80.4	82.8	78.3	78.2	75.9	84.6	79.0	83.3	77.8	79.4
[関西]マンション契約率(原数値)	70.5	81.1	74.9	77.1	83.6	79.8	82.3	80.7	87.0	81.1	80.5	79.6	76.0
[全国]マンション契約率(季節調整値)	71.7	78.0	73.7	79.4	77.6	76.1	76.8	77.5	80.8	84.7	84.9	82.0	79.4
[全国]マンション契約率(原数値)	71.9	79.5	69.2	76.4	82.1	78.2	78.1	81.6	81.6	81.5	83.5	79.6	79.6
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	126.8	89.2	74.6	90.7	130.5	178.2	143.2	150.6	146.6	119.1	167.5	135.7	111.2
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	26.8	14.9	12.0	-6.8	-14.1	4.2	16.0	17.8	37.2	20.8	51.4	12.2	-7.0
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	897.2	824.3	603.9	670.8	1233.8	1599.1	1084.2	1386.8	1572.5	1226.7	1523.5	1523.5	1524.5
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	6.2	15.6	6.7	-4.8	-11.7	28.6	24.8	21.7	29.4	7.9	29.1	29.1	30.1
[関西]建設工事(総合、10億円)	514.6	545.4	558.7	560.1	547.4	448.6	426.1	443.6	453.3	483.0	521.8	540.2	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	5.4	7.8	9.5	8.4	5.0	5.0	4.8	7.2	8.2	11.7	15.0	18.1	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4054.1	4208.4	4088.9	4108.1	4106.2	3293.9	3312.3	3536.3	3721.3	3981.3	4319.8	4549.6	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	8.0	8.6	8.3	6.0	6.3	7.9	10.3	14.2	16.5	16.1	16.2	18.1	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1748.6	1868.7	1824.5	1851.5	1867.1	1256.4	1189.8	1289.5	1397.5	1567.3	1811.8	1997.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	17.9	16.6	15.2	8.6	8.3	11.3	12.9	19.3	25.8	24.3	26.7	25.6	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、05年=100)	88.3	89.4	91.8	89.7	91.1	91.9	92.4	90.8	91.3	91.9	89.2	91.4	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.2	1.2	2.7	-2.3	1.6	1.0	0.5	-1.7	0.8	0.7	-2.9	2.5	UN
[関西]出荷指数(原数値、前年同月比%)	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-9.4	-2.9	4.6	-0.6	0.1	92.0	UN
[関西]在庫指数(原数値、前年同月比%)	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	-4.3	0.3	-0.9	-0.8	1.2	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、05年=100)	89.2	90.3	91.5	90.7	91.1	92.3	92.1	90.8	91.3	91.3	89.7	90.2	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、前月比)	0.1	1.2	1.3	-0.9	0.4	1.4	-0.2	-1.4	0.6	0.0	-1.8	0.6	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、05年=100)	101.6	100.9	101.1	99.4	101.1	101.9	101.0	100.9	104.3	104.6	105.0	104.2	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、前月比)	-2.8	-0.7	0.2	-1.7	1.7	1.3	-0.9	-0.1	3.4	0.3	0.4	-0.8	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	93.4	94.7	94.1	94.9	95.0	95.9	97.7	94.7	97.9	97.0	98.3	99.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.0	1.4	-0.6	0.9	0.1	0.9	1.9	-3.1	3.4	-0.9	1.3	1.0	UN
[全国]出荷指数(原数値、前年同月比%)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	-5.1	1.4	-1.3	4.6	5.7	UN
[全国]在庫指数(原数値、前年同月比%)	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	-2.9	-2.8	-3.3	-3.5	-4.0	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、10年=100)	91.8	95.2	96.3	98.0	97.2	95.8	96.8	93.7	95.6	95.5	96.9	99.1	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.6	3.7	1.2	1.8	-0.8	-1.4	1.0	-3.2	2.0	-0.1	1.5	2.3	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、10年=100)	111.8	110.4	108.6	107.3	106.6	107.4	107.0	107.0	108.7	108.5	108.3	108.0	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.4	-1.3	-1.6	-1.2	-0.7	0.8	-0.4	0.0	1.6	-0.2	-0.2	-0.3	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-1.7	-3.5	-0.5	-1.4	-0.9	-0.3	-0.9	-2.4	-0.7	-0.6	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-1.7	-3.1	-0.4	-1.1	-0.7	0.0	-0.6	-2.1	-1.3	-0.6	-0.5	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-1.1	-2.0	0.1	-0.8	-1.0	0.0	-0.1	0.6	-0.1	-0.6	-0.2	-0.1	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.8	4.8	5.1	5.0	4.7	4.2	4.4	4.2	3.8	4.3	4.1	4.6	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.8	4.5	5.1	5.0	4.9	4.3	4.4	4.1	3.8	4.4	4.1	4.7	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.2	4.3	4.2	4.3	4.1	4.1	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.28	1.26	1.29	1.37	1.37	1.37	1.37	1.46	1.41	1.41	1.42	1.51	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.33	1.35	1.33	1.35	1.39	1.40	1.42	1.49	1.46	1.47	1.50	1.59	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.77	0.77	0.80	0.81	0.83	0.85	0.86	0.88	0.89	0.90	0.89	0.91	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.82	0.83	0.85	0.85	0.86	0.89	0.90	0.92	0.94	0.95	0.95	0.98	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-126.9	54.3	-233.5	-24.4	93.8	-78.6	-42.6	118.2	-121.4	8.5	-32.6	-110.4	-104.2
[関西]輸出(10億円)	1074.3	1183.8	986.1	1054.0	1310.9	1209.0	1216.9	1270.0	1243.0	1257.0	1254.4	1284.7	1242.7
[関西]輸出(前年同月比%)	-3.9	2.5	6.9	-8.7	2.2	4.1	11.1	7.9	10.6	15.7	5.3	14.3	15.7
[関西]輸入(10億円)	1201.1	1129.5	1219.5	1078.4	1217.2	1287.0	1259.6	1152.0	1364.4	1248.2	1287.0	1395.0	1346.8
[関西]輸入(前年同月比%)	2.8	-0.1	6.3	12.6	2.3	10.0	8.2	7.2	19.8	11.4	15.8	23.7	12.1

注1: 鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1-Dec 中国製造業 PMI(11 月) 2-Dec	3-Dec 毎月勤労統計 (10 月 : 速報値)	4-Dec	5-Dec	6-Dec 中国輸出入 (11 月:速報値, 8-Dec)
9-Dec 景気ウォッチャー調査 (11 月)	10-Dec 近畿鉱工業生産指数 (10 月速報) 消費動向調査(11 月) 中国工業生産(11 月) 中国固定資本投資 (1-11 月) 中国消費小売総額 (11 月)	11-Dec	12-Dec 商業動態調査 (10 月確報)	13-Dec 全国鉱工業生産指数 (10 月確報)
16-Dec マンション契約率 (11 月)	17-Dec 建設総合統計 (10 月)	18-Dec 公共工事前払保証額 統計 (11 月) 近畿貿易統計 (11 月速報) 全国貿易統計 (11 月速報) 毎月勤労統計 (10 月 : 確報値)	19-Dec	20-Dec
23-Dec	24-Dec 近畿鉱工業生産指数 (10 月確報)	25-Dec 中国輸出入 (11 月: 確報値(予定))	26-Dec 近畿貿易統計 (11 月確速) 全国貿易統計 (11 月確速) 新設住宅着工(11 月)	27-Dec 全国鉱工業生産指数 (11 月速報) 商業動態調査 (11 月速報) 完全失業率(11 月) 求人倍率(11 月)
30-Dec	1-Jan	2-Jan	3-Jan	4-Jan